※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	楽しい国語	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では、現代文を中心として、文学作品、実用的な文章、論理的な文章などいった幅広い内容を学習します。さまざまな文章に触れ、自分の考えたことを言語で表現し、共有していきましょう。
・教材については担当者が用意します。筆記用具とファイルを忘れないようにしてください。
・提出物については期限を把握したうえで、計画的に取り組んで提出してください。

2　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識・技能を身につけ、国語の楽しさを理解できるようにする。
・様々な国語の側面を知り、国語の面白さを自分の言葉で表現できるようにする。
・国語の楽しさを知り、生涯にわたって言語を通して社会や人と関わろうとする姿勢や態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、自分の考えや思いを言葉にまとめ、他者と伝え合う力を高めることができる。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	説明文の読解(1) ［教材］ 自作プリント	a:文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解することができる。 b[話/聞]:話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫することができる。 c:話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に	定期考査	定期考査 パフォーマンステスト	ワークシート ふりかえりシート

※令和４年度以降入学生用

		用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫しようとしている。			
	説明文の読解(2) ［教材］ 自作プリント	a:実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。 b[書]:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c:自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
	小説の読解 ［教材］ 自作プリント	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[読]:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然、などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c:作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然、などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート
	論理的な文章の読解(1) ［教材］ 自作プリント	a:論証したり学術的学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。 b[書]個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が明確に伝わる文章になるよう工夫することができる。 c:文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が明確に伝わる文章になるよう工夫しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	ワークシート ふりかえりシート
	論理的な文章の読解(2) ［教材］ 自作プリント	a:文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。 b[読]関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 c:関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めようとしている。	定期考査	定期考査 課題物	ワークシート ふりかえりシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間